

屋根に見る粋な文化

屋根飾りと願い

瓦は「昔ながらの日本家屋につきもの」と思われがちですが、つい150年ほど前までは、瓦屋根の家は少数派。瓦が民家に使われるようになったのは江戸時代の中期からだそうです。

数千年の人類の歴史の中で、実は短い歴史の日本の瓦屋根。同じような新建材の家が立ち並ぶ開発数十年前の住宅地では見られませんが、昔ながらの商家や古い屋根が残る地域では、現在も家内繁栄・防火・水難・魔除けなどを願う多種多様の屋根飾りが残されています。それはご存じでしょうか。

飾りによっては施工当時の時代背景を考えたり、意匠センスに感動することもあります。左の写真は、獅子



右の写真は、大黒天。打ち出の小槌と大きな袋を持ち、米俵の上に座った姿で描かれることが多い。ご利益は五穀豊穡、商売繁盛、子孫繁栄、福の神として信仰されます。

左は遭遇率の高い、鶴・亀不老長寿の格言「鶴は千年、亀は万年」にあるように



永く健康に暮らせるようにとの願いがこもっています。巴瓦の先にデザインされていることが多いです。次は水難と運氣上昇を願う鯉一番最後の三猿は施主様のご趣味でしょうか!! お出かけの際に屋根飾り探しをするのも楽しいですよ。



孫七瓦工業株式会社の経営理念Ⅱ 目的理念

私たちは、日本建築の文化の継承と、伝統を活かした技術革新を通じて社会に貢献します。

行動理念

一、私たちは、安全で安心できる快適な住まいのある暮らしを提供します。（科学性）

一、私たちは、社会に信頼される会社となり、地域社会の発展に貢献します。（社会性）

一、私たちは、共に学び、共に育ち、全社員の幸福を追求します。（人間性）

この経営理念は孫七瓦工業株式会社が継続的・計画的に社会に役立つ企業としての根本的な価値基準です。

取り上げてほしいテーマや皆様のお屋根にまつわる体験談・お勧めのカフェや奈良のお勧め情報なども随時募集しております。

まごひち瓦版は不定期発行です、バックナンバーは弊社ホームページでご覧いただけます。かわら版の送付停止をご希望の方は編集部までご連絡下さい。ご連絡と発送が前後した場合は次号より停止させていただきます。

〒636-0143 奈良県生駒郡斑鳩町神南3-13-13 孫七瓦工業(株) まごひち瓦版編集部

☎ 0745-74-1218 HP <https://www.magohichi.com>